

## 全国学力・学習状況調査の結果について

令和4年4月19日(火)3年生を対象に実施

### 京都市教育委員会広報資料より「京都市」の結果について

中学校の平均正答率は、全国平均を、数学は1.6ポイント、理科は0.7ポイント上回っています。また国語も同等の結果となり、全教科平均は、9回連続全国平均を上回っています。

詳しい分析は、今後、随時、京都市教育委員会ホームページにて公開されます。

教育委員会のHPから『小中一貫教育・学力向上』のバナーをクリックし、『全国学力・学習状況調査』を選んでご覧下さい。

\* ( ) 内は、左：都道府県47自治体の成績にあてはめた順位

右：指定都市20自治体の成績にあてはめた順位

	国語 (設問数 14 問)		数学 (設問数 14 問)		理科 (設問数 21 問)	
	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率
京都市	9.7	69 (17位/9位)	7.4	53 (10位/8位)	10.5	50 (10位/7位)
全国 (公立)	9.7	69.0	7.2	51.4	10.4	49.3
京都府 (京都市を除く)	9.8	70	7.1	50	10.3	49
京都府 (京都市含む)	9.7	69	7.2	52	10.4	49

### 本校の各教科の結果について (全国との比較を中心に)

**国語** 全国的に「思考・判断・表現」の問題について、正答率が約60%となっているのに対し、本校では、3~4ポイント、全国平均を下回る結果となりました。特に「書くこと」のポイントが低く、苦手意識を持っている生徒も多いと考えられます。しかし、「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国平均とほぼ同じポイントが取得しています。これらの問題は、基本的な語句の意味や語彙の定着を図る問題、漢字の読み書きにあたります。基本的な言葉の意味や漢字の読み書きは、反復学習も必要ですが、日々の会話も非常に重要な要素の一つです。この領域のポイントが高かったのは、子どもたちとの会話を心がけていただくなどの、丁寧なご家庭での指導が影響しているのだろうと考えられます。これからもご家庭の協力も得ながら、今回の結果を真摯に受け止め、子どもたちの学力向上に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

**数学** 平均正答率が全国平均を2ポイントあまり下回る結果となりました。本校生徒も全国的にも、「思考・判断・表現」や「記述式」の問題に対して、正答率が34~37%ほどと、苦手な傾向にあります。しかしながら、生徒質問紙では、「数学の勉強が好き」「授業の内容がよくわかる」「数学の勉強は大切だと思う」「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」という答えが、全国平均を上回る状況にあります。子どもたちの数学に対する意欲から、子どもたちの力をまだまだ向上させられる余地があることと、今回の結果を真摯に受け止め、授業での指導方法の改善の中で、まず学びさせ、それを定着させる方策を研究して行っていきたいと考えます。ご家庭におかれましても、数学的な内容の話を意識していただきながら、学習習慣定着へのご相談をしていただき、学びに向かう姿勢についてのご支援をよろしくお願いいたします。

**理科** 全国平均から1ポイント下回る状況でしたが、学年が上がるにつれて着実に力をつけています。ただ、学習確認プログラムでも同様の結果が出ておりますが、「生物」「地学」分野における知識・理解が苦手であり、「化学」「物理」分野は全国平均と同等の結果が出ています。理科の中では「生物」「地学」分野は記憶する内容が多く、反復練習で点数を伸ばすことが可能な学習内容です。今後の授業では、分野問わず学力の向上させられる余地があることと、今回の結果を真摯に受け止め、授業での指導方法の改善の中で、既習事項の「定着」を目標におき、受験への対策としていきたいと考えます。

全教科を通して、学習することが大切で、将来役に立つことはわかっているもののなかなか学習習慣づけられない傾向にあります。ご家庭におかれましても、家庭学習の定着をサポートしていただき、学びに向かう姿勢についてのご支援をよろしくお願いいたします。

### 生徒質問紙より

#### ■基本的な生活習慣・学習習慣について

毎日の生活習慣の基本となる就寝と起床の時間は、引き続き規則正しいようです。1日のスタートである朝食を『毎日必ず食べる』生徒も、全国より3ポイント下回りますが、昨年より7ポイント改善はされてきています。ご家庭のご協力の成果と考えます。朝食は学校での学習意欲や活力ある生活に大きく関わるため、引き続き、ご協力をお願いいたします。

今年、際どって増加傾向にあるのが、スマホやパソコンでゲームや動画視聴を1日にする時間です。平日に4時間以上ゲームをする人が全国より18ポイント近く、動画視聴でも、7ポイントほど多くなっています。スマホなどの使う約束をしているかどうかについては、全国より高い回答にもかかわらず、時間が多いということ、約束自体の見直しをお願いできると考えます。また、GIGA端末の有効利用に関する問いも全国より低くなっています。家庭でのGIGA端末を利用した学習方法を広めていく必要があると考えます。

ここ数年、改善されてきた読書についてですが、『読書は好きですか』という設問に対して、「あてはまる」の回答が全国に比べて、5ポイント近く低い状態です。ただ、読書時間は全国並みに、家庭にある本の冊数は全国を上回っています。朝読書などを通して、はたらかけを続けていきたいと考えます。

#### ■規範意識・自己有用感について

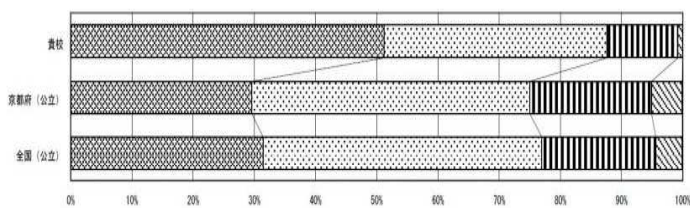
設問『いじめは、どんな理由があってもいけません』への「あてはまる」の回答は引き続き大きく全国を上回り、高い人権意識を感じることが出来ます。また、『人が困っているときは、進んで助けていますか』についても「あてはまる」の回答が全国を6ポイント上回り、思いやりや優しさの心も育ってきています。

課題が大きかった自己有用感に関する設問でも『自分には良いところがあると思いますか』の回答で、「あてはまる」と答えた人が全国を1ポイント上回りました。また、『将来の夢を持っていますか』や『難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか』という設問でも、「あてはまる」がともに6ポイント以上全国を上回る結果となりました。生徒と教職員、そして保護者の皆さんが協力して、学校教育目標の後半、「自律して社会を生き抜く力の育成」が達成されつつあると感じます。引き続き、ご家庭におかれましても、子どもたちに自信をもたせ、個性を伸ばすはたらかけの支援をよろしくお願いいたします。

#### ■目指す学校像について

『学校に行くのは楽しいと思いますか』の問いに対して「あてはまる」と答えた人は、全国を17ポイントも上回り、『困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか』にも「あてはまる」と答えた人が全国を14ポイント上回っています。これらの結果から、目指そうとしている安心・安全な学校に近づいていることを確信し、さらに増加するように今後の取組を展開していきたいと考えます。また、『自分と違う意見について考えるのはたのしいですか』という設問にたいする回答が下のグラフです。「あてはまる」と回答した人は、20ポイント近く全国を上回っています。『伝える力』を生徒に必要な資質・能力として、あらゆる場面で取り組んできた成果と考えます。ご家庭でも、話をする機会を意識してみてください。

Q1. 当てはまる Q2. どちらかといえば、当てはまる Q3. どちらかといえば、当てはまらない Q4. 当てはまらない Q5. その他 Q6. 無回答



### 10月分学校預金振替について

振替日：10月11日(火)

振替額：1年生 6,000円 2年生 6,000円 3年生は9月で終了です。

6組も各学年と同額です。お忙しい中ですが、ご準備よろしくお願いいたします。いつもご協力ありがとうございます。